

4 . 木更津港の将来像と長期空間利用構想(案) (概ね 30 年後の木更津港のあり方)

4 - 1 木更津港の将来像 (案)

上位・関連計画における港及び背後地域の整備方向

国土形成計画（全国計画）の基本的方向
—平成20年7月閣議決定—（国土交通省）（上位計画）

■新しい国土像
多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図る
○ブロックの外に向けて
・東アジア等との交流・連携
・太平洋のみならず、日本海及び東シナ海の活用
○ブロック内では
・成長エンジンとなる都市・産業の強化
・各地域が連携、相互補完
・地域の想像力を結集し、安心して暮らせる生活圏を

■戦略的目標
○東アジアとの円滑な交流・連携
○持続可能な地域の形成
○災害に強いしなやかな国土の形成
○美しい国土の管理と継承

関東地域の港湾の基本方針—みなとのギアチェンジャー
平成18年2月（関東地方整備局）（上位計画）

■物流の基本方針（活力ある経済社会へ貢献するために）
○物流コスト削減・サービス水準の向上等により、我が国の国際競争力および産業立地環境を維持・改善する

■防災の基本方針（首都圏の安全・安心・安定を支えるために）
○総合的な防災・減災対策により、地震被害を最小限に抑制する
○総合的な防災・減災対策により、津波・高潮被害を最小限に抑制する
○総合的な安全対策により、海難事故・テロ等による被害を最小限に抑制する

■環境の基本方針（美しく安全で生き生きした東京湾と人々の共生のために）
○東京湾等の海域環境の再生により、海からの恵みを回復し継承していく
○地球環境への負荷の軽減により、持続可能な社会の実現に資する

■くらしの基本方針（世界に誇りうる文化をもち、生き生きくらすために）
○魅力的な海辺の形成により、豊かで生き甲斐をもった生活に資する
○臨海部の産業機能の強化・充実により、雇用機会を確保する
○離島への海上交通機能の強化と交流拠点の形成により、離島の安心・安定した生活を実現する

あすのちばを拓く10のちから（千葉県）（上位計画）

《目指すべき千葉県の姿》
千葉県の持続的な発展と県民一人ひとりの幸せ

《重点施策》
①産業クラスター戦略の推進による千葉県経済の活性化
②観光立県千葉の実現
③安全・安心な生活空間づくり

みなと木更津再生構想—みなとを活かしたまちづくり—
（木更津市）（関連計画）

①駅西口地区
多様な都市的サービスの集積、質の高い居住環境整備

②内港地区
親水性のある港湾空間の形成、海洋性レジャースポットの整備

③木材港地区
周辺環境や産業ニーズに対応した土地活用促進、貯木池を活かすマリン活動環境整備

④築地地区
賑わいを創出する交流拠点、商業・アミューズ系大型集客施設の誘致促進

木更津港の果たすべき役割（案）

- 首都圏及び背後地域の持続的な発展への貢献
- 地域の活性化に寄与する港湾
- 人々が憩い・楽しめる場の提供
- 人々の暮らしの安全・安心を支える港湾

長期構想における基本方針（案）

- 木更津港は、東京湾内に位置する港湾として、他の港湾との適正な連携と機能分担を図り、首都圏の物流効率化に貢献する
- 物流の効率化及び賑わいのある港の形成等、地域の活性化に寄与する港湾整備を目指す
- 東京湾内に残された数少ない自然海岸を保全するとともに、人々が憩い、安らげる場を提供する

木更津港の将来像（案） —今後担うべき役割—

物流	物流の効率化・高度化を図り、首都圏及び地域産業の輸送合理化に貢献する“木更津港”
観光交流 アメニティ	空間の創出と水際線の開放により、海に開かれたまちづくりに貢献する“木更津港” マリンレジャー基地の形成により地域振興に貢献する“木更津港”
環境	干潟等の貴重な自然環境と調和した発展を目指す“木更津港”
防災	防災機能を強化し、暮らしの安全と安心に貢献する“木更津港”